

平成30年12月11日
道路局企画課

第33回日中道路交流会議を開催しました（報告）

～道路分野における日本・中国両国の協力関係の継続を確認～

国土交通省では、中華人民共和国交通運輸部と、11月27日に東京、29日に名古屋において、「第33回日中道路交流会議」を開催しました。

本会議では、ITS（高度道路交通システム）の取組等について、両国の課題・経験を共有するとともに、引き続き、両国の協力関係を継続していくことを確認しました。

本会議は1984年（昭和59年）、日中間において、道路に関する技術交流を目的に「日中道路交流会議」を開催することに合意して以降、30年以上に渡りほぼ毎年開催しております。11月27日、29日に開催した第33回日中道路交流会議の結果概要は次のとおりです。

《第33回日中道路交流会議》

- (1) 日程：平成30年11月27日（火） 9：30～13：20（東京）
平成30年11月29日（木） 9：30～13：20（名古屋）

- (2) 会場：国土交通省2号館16階 国際会議室（東京）
国土交通省中部地方整備局3階 大会議室（名古屋）

- (3) 主催：国土交通省、中華人民共和国交通運輸部

- (4) 出席者（東京約20名、名古屋約20名）

〔日本側〕 国土交通省 道路局長 池田 豊人

大臣官房審議官（道路担当） 田尻 直人

中部地方整備局 道路部長 池口 正晃 ほか

〔中国側〕 中華人民共和国交通運輸部 公路局副局长 王 太

交通運輸部 公路局プロジェクト管理処副処長 王 恒斌 ほか



池田局長による開会挨拶



王副局长による開会挨拶

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 企画課 国際室 廣瀬、伊藤

電話 03-5253-8111（内線：37542、37556）

夜間直通 03-5253-8906 F A X 03-5253-1618

別紙 結果概要

【中国側発表】

- ・中国の自動運転の動向について、ITSの取組の全般的な状況を含め、自動運転実験の最新の動向と今後の展望について紹介されました。
- ・中国の近年における鋼橋の整備状況について、耐候性鋼材及び鋼構造物塗装の使用状況、メンテナンスに関する最新の取組や今後の展望等について紹介されました。
- ・中国における設計・施工の工業化について、道路建設における成果と課題、工業化に向けた最新の取組状況、建設と維持管理の一体化を目指す構想等について紹介されました。
- ・中国の道路建設分野における官民連携（PPP）の運用状況について、導入の背景、中央と地方政府の財政面での役割分担、実施効果の検証等について紹介されました。

【日本側発表】

- ・日本のITS政策について、ETC普及のためのこれまでの取組、ETC2.0が支える道路を賢く使う取組について最新の動向と今後の展望等について紹介しました。
- ・日本の鋼橋の長寿命化に向けた課題と対策について、鋼橋の防食技術、耐候性鋼材を用いた鋼橋の長寿命化における最新の取組と今後の展望等について紹介しました。
- ・日本における設計、施工の標準化、工業化について、建設現場の現状、建設業の生産性向上に係る取組等について紹介しました。
- ・日本における道路プロジェクトの意思決定プロセスについて、道路事業の進め方、環境影響評価、事業評価、設計成果の品質向上に向けた取組等について紹介しました。

会議を通じて、両国の道路分野の最新情報を共有できたとともに、引き続き両国の道路分野における協力関係を継続していくことについて確認しました。国土交通省としては、会議で得られた知見を国内の道路行政に活用するとともに、今後とも日中両国の道路に関する技術交流を強化して参ります。



会議参加者（東京）



会議参加者（名古屋）



会議の様子（東京）



会議の様子（名古屋）